

日立 増設タイプ ハンズフリードアビジョン用 通話専用増設親機

形名
VK-M70TT

ご使用の前にこの「取扱・取付説明書」をよくお読みください。



取扱・取付説明書

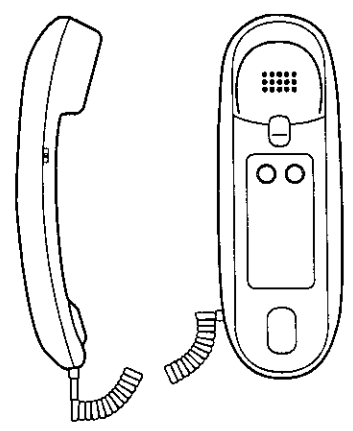
保証書付

このたびは、日立通話専用増設親機をお求めいただきまことにありがとうございました。
この「取扱・取付説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
また、合わせてVK-M70の「取扱説明書」および「取付説明書」もよくお読みください。
なお、この「取扱・取付説明書」には「保証書」も付いていますので、お読みになった後は大切に保管してください。

本機は増設タイプハンズフリードアビジョンVK-M70に接続する通話専用の増設親機です。本機のみでは動作しません。

目次

	ページ
1. 安全に正しくお使いいただくために	2
2. 安全上のご注意	2
3. お手入れについて	2
4. 主な特長	3
5. 各部の名称とはたらき	3
6. 配線方法	4
7. 取付方法	5
8. 操作のしかた	5
● 1世帯住宅の場合	
● 2世帯住宅の場合	
● 個別呼出しにした場合	
9. 機能設定のしかた	9
● メニュー画面の開きかた	
● コベツメニュー及びシステムメニュー画面の開きかた	
● モードAでの設定	
● モードBでの設定	
● モードCでの設定	
10. 電源投入時の動作について	11
11. タイマー機能	11
12. 故障かな?と考える前に	11
13. ご相談窓口一覧表	11
14. 仕様	裏表紙
15. 保証とアフターサービス (必ずお読みください)	裏表紙
保証書	裏表紙



付属品	
● 取扱・取付説明書×1	● 壁掛金具×1
● 木ねじ(3.8×20)×2	● ねじ(M4×30)×2

1. 安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

2. 安全上のご注意

警告		この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	
既設の配線を使用する場合は、高電圧がかかっていないことを確認してください。火災・感電の原因となります。		本機のカバーや裏ぶたを外したり、改造をしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。	分解禁止
通風孔(開口部)をふさいだり、内部に金属類を差し込んだり、落としたり、衝撃を与えないでください。故障、火災、感電の原因となります。		親機は、雨水がかかる場所に設置しないでください。感電・漏電の原因となります。	水ぬれ禁止
<ul style="list-style-type: none"> ● 電源を接続した状態で配線、取付け、結線工事をしないでください。感電の原因となります。 ● 電源の配線工事には電気工事士等の資格が必要です。無資格者の工事は火災・感電の原因となることがあります。 ● 親機・子機間の通信線は、電源線から離して設置してください。お互いの線が接触した場合、火災・感電の原因となることがあります。 		本機を以下のような場所に設置しないでください。火災・感電の原因となります。 <ul style="list-style-type: none"> ● 暖房器具の近くなど、温度が上昇する所 ● 風呂場の中や洗濯機、加湿器の近くなど湿気の多い所 ● 冷凍倉庫内、クーラーの正面などの温度が低い所 ● 調理台の近くなど油煙や湯気のアたる所 	
注意		この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。	
本機を壁に取付ける場合は、肩などの身体が容易に触れない場所を選んでください。けがの原因となることがあります。		雷が鳴りだしたら、使用を中止してください。感電の原因となることがあります。	
振動、衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。		製品の下にガラス、陶器等、こわれやすいものを置かないでください。こわれたりしてけがの原因となることがあります。	
呼出しテスト、音量の確認は、必ず送受器を本体に戻して行ってください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。			

3. お手入れについて

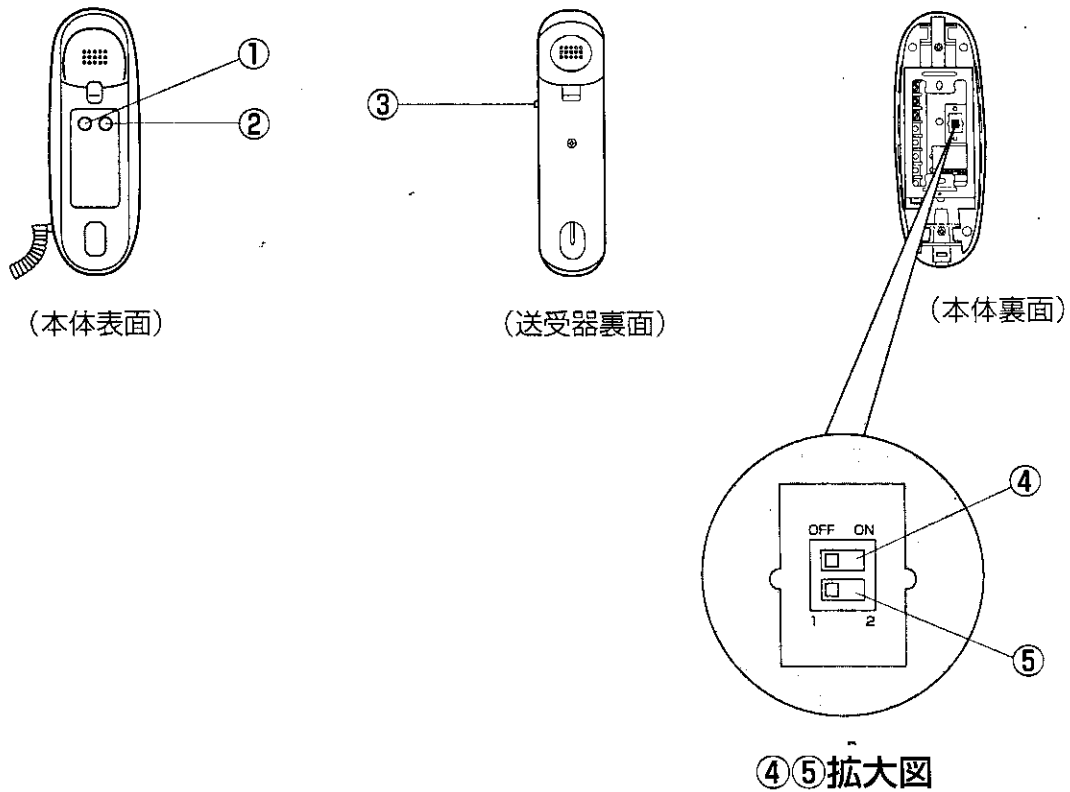
- 汚れを落とすときは、柔らかい布で空ぶきしてください。
- 汚れがひどい場合は、中性洗剤を布に浸して拭き、さらに、乾いた布で拭き取ってください。
- シンナー、ベンジン、化学ぞうきん類は使用しないでください。



4. 主な特長

- ドアホン子機からの呼出音は2種類から選べます。(呼出音を切ることもできます。)
- 呼出音量は2段階に調節できます。
- モニター親機と通話専用増設親機間で呼出し・通話ができます。
- 親機へ一斉に呼びかけることができます。
- 玄関先から室内の家族に呼びかける帰宅コール機能付。(カメラ付玄関子機使用の場合)
- システム中に最大2台まで接続できます。

5. 各部の名称とはたらき



- ① 室内呼ボタン 他の親機を呼出すときに押します。
- ② 他世帯呼ボタン
2世帯住宅に設定したとき、他世帯を呼出す時に押します。
- ③ 呼出音量つまみ 出荷時は“大”に設定されています。
呼出音の音量を調節できます。
ドアホン子機から呼出し 大・小・切
親機からの呼出し 大・小・小
- ④ 終端スイッチ OFF ON
出荷時は“OFF”に設定されています。配線システムの末端に接続するときに“ON”にします。
- ⑤ アドレス設定スイッチ 1 2
出荷時は“1”に設定されています。
モニター親機 (VK-M70H) メニュー画面の“ツウワセンヨウオヤキ1”
“ツウワセンヨウオヤキ2”にそれぞれ対応しています。

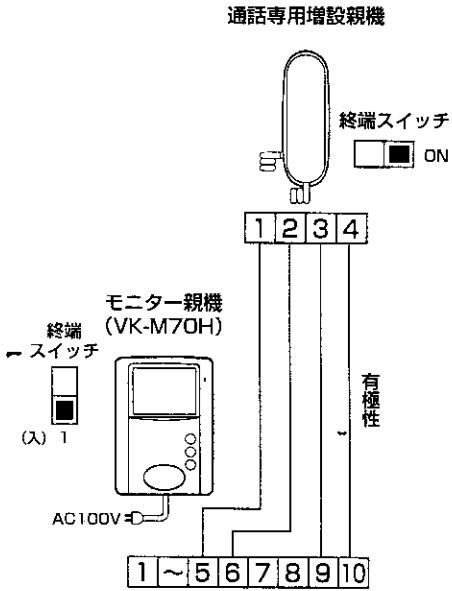
6. 配線方法

配線方法はシステムの展開によって何通りにもなります。

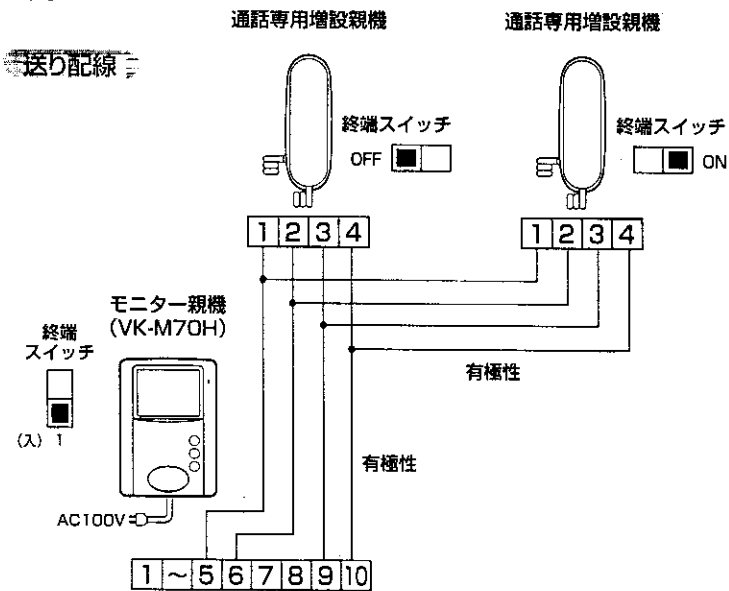
ここではシステム中のモニター親機との基本的な配線方法を紹介しています。

また、モニター親機 (VK-M70) の取付説明書もあわせてご覧ください。

<例1>

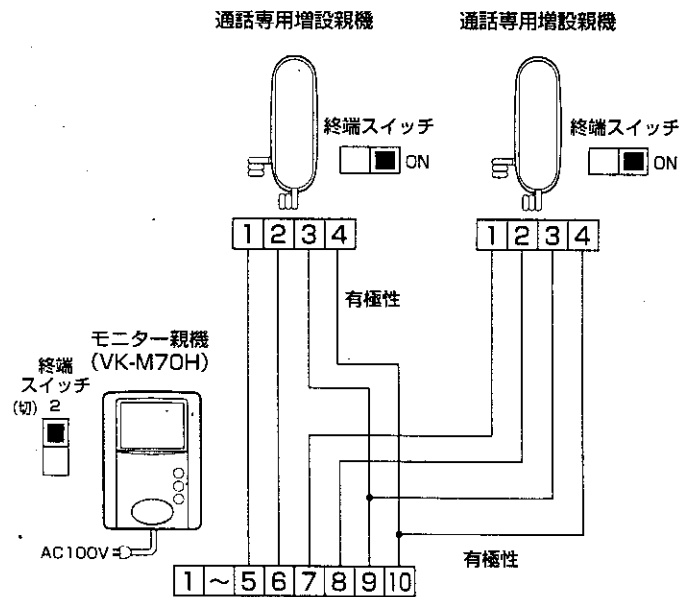


<例2>



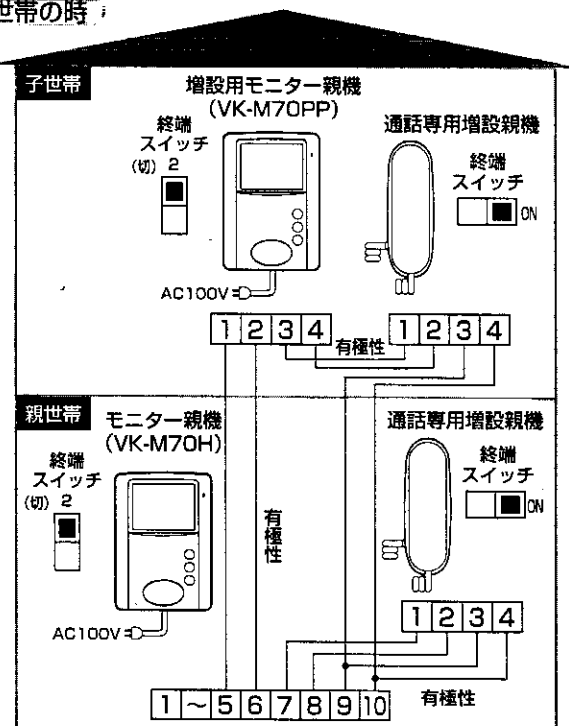
<例3>

スター配線



<例4>

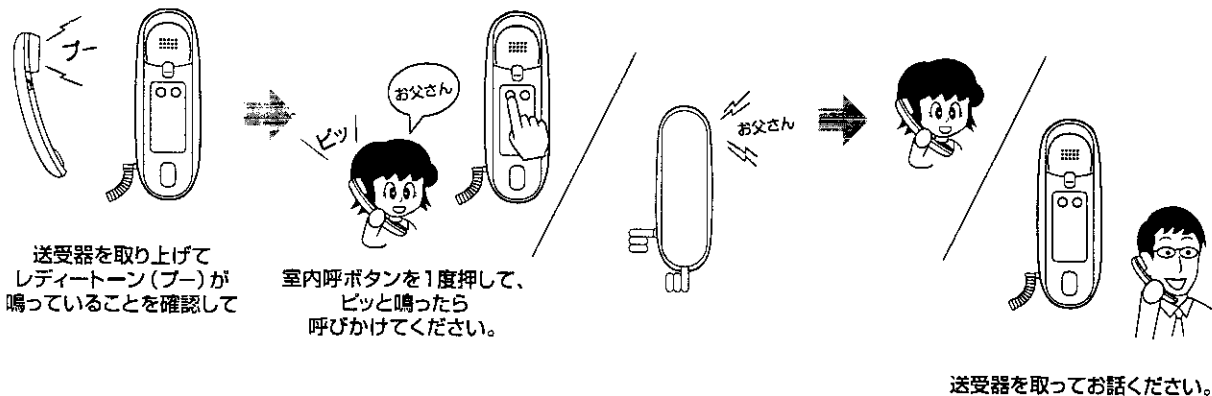
2世帯の時



ご注意

- 配線コードを接続するときは端子のねじを取らず、ゆるめるだけで被覆をむいたコード先端を座金の下に差し込んで固定してください。(接続端子は裏側にあります。)
- 露出配線の場合、本体上下どちら側からでも配線できます。
- すでに配線されているコードを使用するときは、断線や短絡をしていないことを確認してから接続してください。

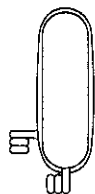
●親機間で呼出・通話するとき



補足

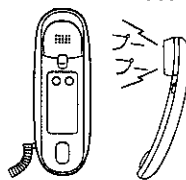
送受器を取り上げると5秒後にドアホン子機につながりますが、室内呼ボタンを押すことで親機に呼びかけることができます。

通話終了・親機への呼出しを中止するときは



送受器を元に戻してください。

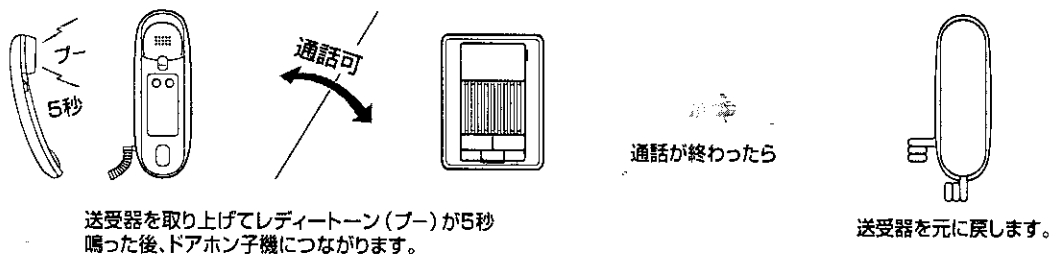
使用中以外の通話専用増設親機では



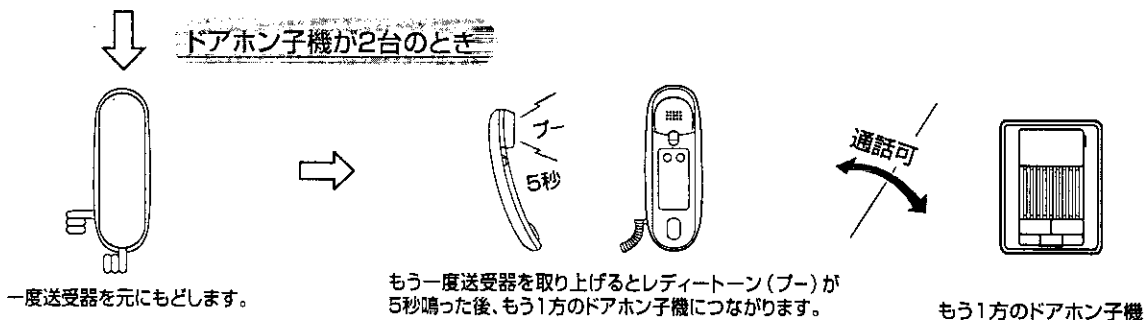
ビジートーン(ブーブー)が鳴って使用できません。

●通話専用増設親機からドアホン子機を選択して通話するとき

ドアホン子機が1台のとき



もう1度通話したいとき



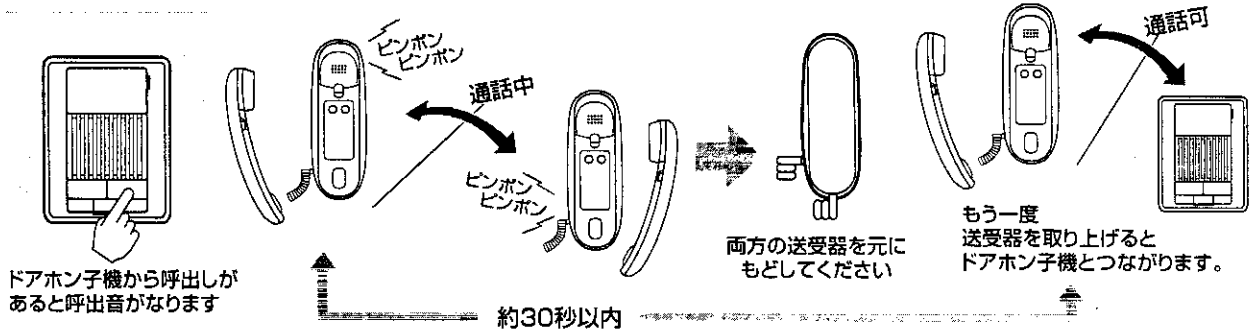
ご注意

ドアホン子機が2台の場合、モニター親機の電源を入れて、ドアホン子機から1度も呼出されていないと、ドアホン子機1、ドアホン子機2が交互に選択されますが、どちらかのドアホン子機から呼出しがあった後は、呼出しのあったドアホン子機から交互に選択されます。

●室内通話中にドアホン子機から呼ばれて通話するとき

ご注意

はじめの呼出しから約30秒以内に送受器を取り上げてください。

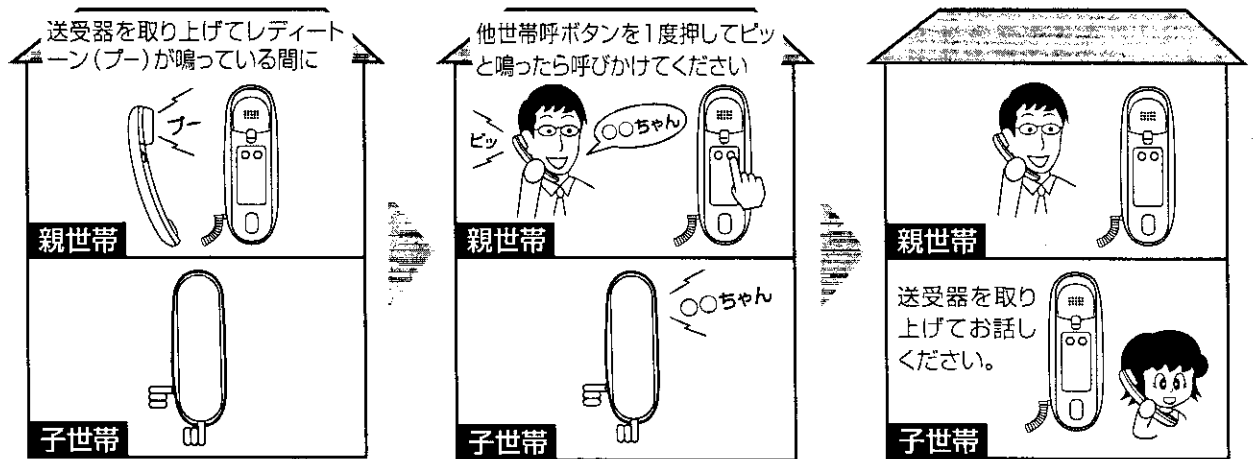


■2世帯住宅の場合(モニター親機(VK-M70H)でモードBに設定した場合)

同一世帯(同グループ)内での操作方法は1世帯住宅の場合(モードA設定時)を参照してください。(5ページをご覧ください)

設定方法の詳細については10ページ(VK-M70の取説23ページ)をご覧ください。

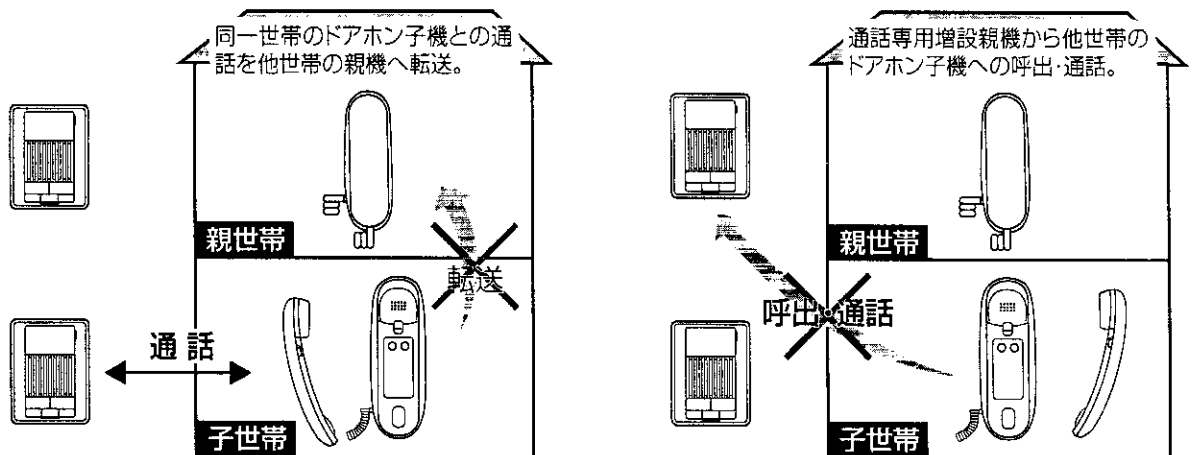
●他世帯親機間で呼出・通話するとき



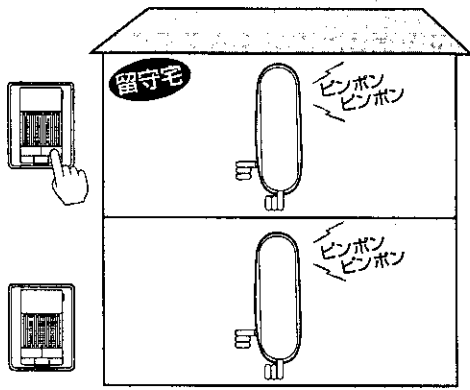
補足

一方の世帯で使用中大と、もう一方の世帯の通話専用増設親機ではビジートーン(ブー)が鳴って使用中であることを知らせます。

●グループ分けをすると次の事はできません



●留守コールについて



留守にするととき自世帯のドアホン子機からの呼出しを他世帯の親機にもかけることができます。

設定は通話専用増設親機ではできません。両世帯いづれかのモニター親機、増設用モニター親機で行ってください。

くわしくは、モニター親機 (VK-M70) の取扱説明書 (14、18ページ) をご覧ください。

ご注意

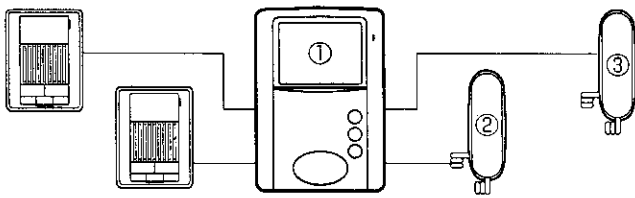
他世帯のドアホン子機を選択し、通話することはできません。

■個別呼出しにした場合(モニター親機(VK-M70H)でモードCに設定した場合)

通話専用増設親機からの個別呼出しはできません。一斉またはグループ別の一斉呼出しのみ使用できます。他の親機からの個別呼出しには対応しています。

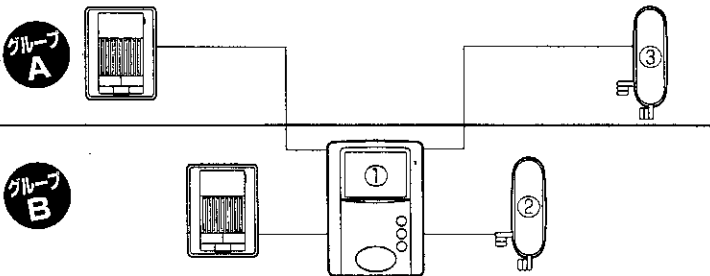
設定方法の詳細については10ページ (VK-M70の取説25ページ) をご覧ください。

●全親機違う個別番号を設定した場合



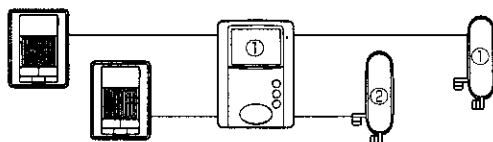
1世帯住宅の場合(モードA設定時)を参照してください(5ページをご覧ください)

●全親機違う個別番号を設定し、さらにグループ分けした場合



2世帯住宅の場合(モードB設定時)を参照してください(7ページをご覧ください)

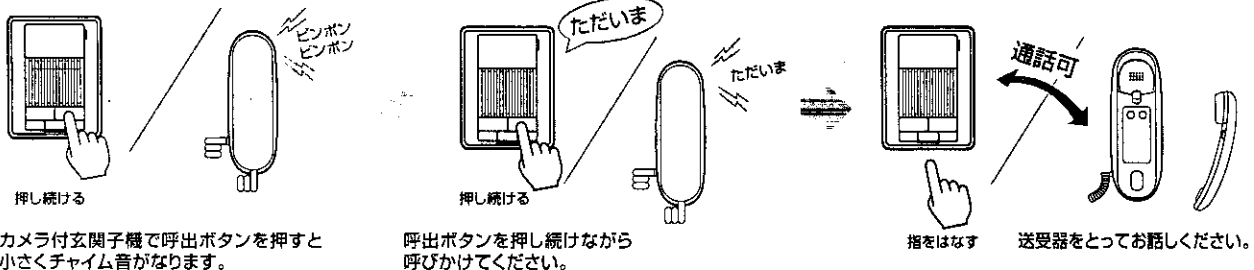
補足



グループ分けをする、しないにかかわらず同じ個別番号に設定することもできます。

■その他の機能

●玄関先から室内へ呼びかけたいとき (帰宅コール機能)



カメラ付玄関子機で呼出ボタンを押すと小さくチャイム音がなります。

呼出ボタンを押し続けながら呼びかけてください。

指をはなす 送受器をとって話しください。

9. 機能設定のしかた

- 通話専用増設親機で機能設定はできません。モニター親機(VK-M70H)のメニュー画面を開いて設定してください。メニュー画面のモード設定により、室内呼の呼出方法を、**一斉呼出(モードA)**、**グループ呼出(モードB)**、**グループ/個別呼出(モードC)**に対応させることができます。

モードA：1世帯住宅用（一斉呼出機能）として使う場合に便利です。

モードB：2世帯住宅用（グループ呼出機能）として使う場合に便利です。

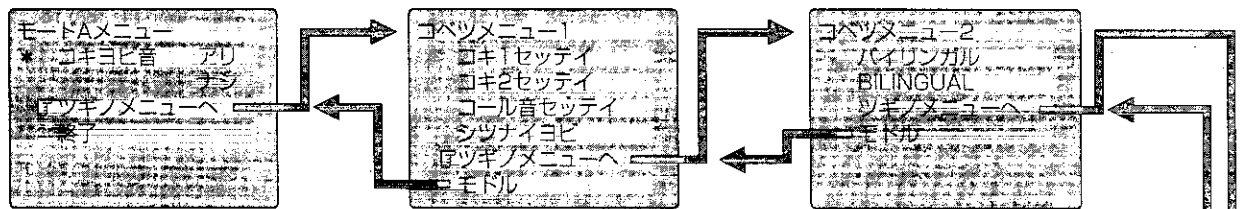
モードC：モードBに個別呼出機能を追加したモードです。1世帯使用でも個別呼出が多い場合に便利です。

■メニュー画面の開きかた(詳しくは、VK-M70の取扱説明書15ページをご覧ください)

モニター親機または増設モニター親機の待機時に、モニターボタンを約2秒以上押すと確認音(ピッ)が鳴ってメニュー画面が開きます。

■システムメニュー画面の開きかた

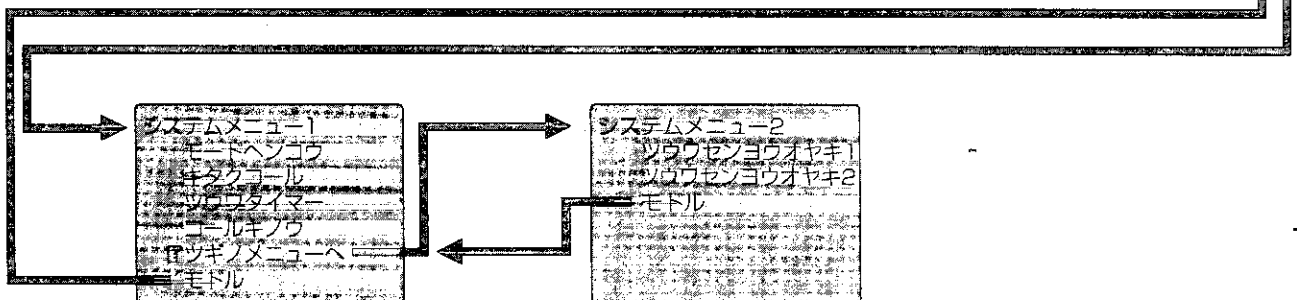
モニター親機で設定



- ツギノメニューへに☐を合わせる。
- ☐ボタンを押す。

- コベツメニュー1は、モニター親機または、増設用モニター親機で個別に設定する項目です。

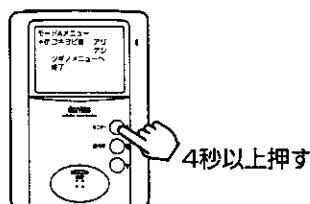
- コベツメニュー2は、日本語表示と英語表示の切替メニューです。



- システムメニュー1はシステム共通のメニューです。モード変更はこの画面から選んで変更します。モニター親機で設定するとすべての増設親機が同じ設定になります。

システムメニュー2で本機の設定をします。

■メニュー画面の閉じかた(詳しくは、VK-M70の取扱説明書15ページをご覧ください)



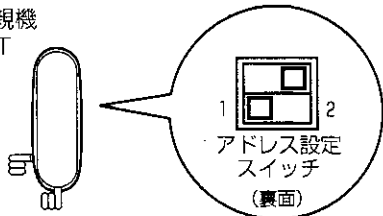
- メニュー画面が開いている状態でモニターボタンを4秒以上押してください。
- メニュー画面が消え、指を離すと確認音(ピッ)が鳴り、待機状態になります。

本機の設定は、モニター親機(VK-M70H)のシステムメニュー2で行ないます。

■モードAでの設定 (詳しくは、VK-M70の取扱説明書21ページ、破線で囲まれたシステムメニュー2をご覧ください)

(1) まず、通話専用親機1、通話専用親機2の個別設定を本機のアドレス設定スイッチで行ないます。

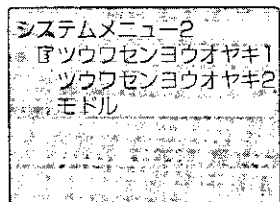
通話専用増設親機
VK-M70TT



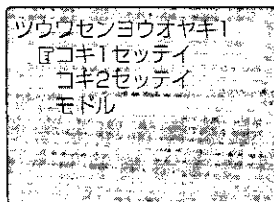
- 通話専用親機裏面のアドレス設定スイッチを1にすると“ツウワセンヨウオヤキ1”の設定となり、通話専用親機裏面のアドレス設定スイッチを2にすると“ツウワセンヨウオヤキ2”の設定となります。

(2) 子機1の設定

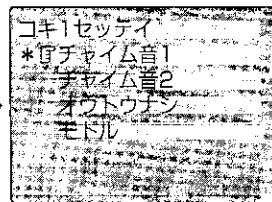
ドアホン子機1との呼出、通話の許可及びチャイム音の設定をします。出荷時は“チャイム音1”になっています。



- ツウワセンヨウオヤキ1に \square を合わせる。
- \square ボタンを押す。



- コキ1セッテイに \square を合わせる。
- \square ボタンを押す。



- チャイム音1またはチャイム音2またはオウトウナシに \square を合わせる。
- ボタンを押す。
- “ピッ”という音でセット完了です。
- モデルに \square を合わせて戻します。

* チャイム音1
ピンポン、ピンポン
チャイム音2
ポロロ、ポロロ、ポロロ
オウトウナシ
ドアホン子機1との呼出、
通話を禁止。

(3) 子機2の設定

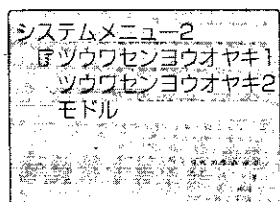
(2)の要領で子機2のチャイム音の設定をします。出荷時は“チャイム音2”になっています。

■モードBでの設定 (詳しくは、VK-M70の取扱説明書23ページ、破線で囲まれたシステムメニュー2をご覧ください)

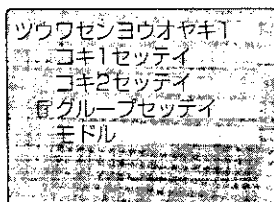
2世帯住宅用として使う場合に便利です。モードAメニューにグループ設定機能が追加されます。

(1) グループ設定

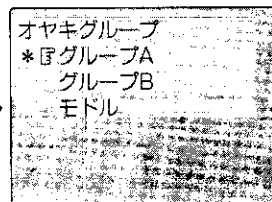
2世帯住宅で、通話専用増設親機を接続する時に設定をします。グループAかグループBに設定してください。出荷時は、ツウワセンヨウオヤキ1、2とも“グループA”になっています。



- ツウワセンヨウオヤキ1に \square を合わせる。
- \square ボタンを押す。



- グループセッテイに \square を合わせる。
- \square ボタンを押す。



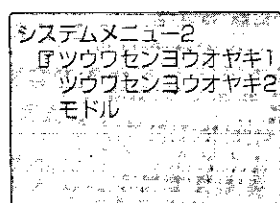
- グループAまたはグループBに \square を合わせる。
- \square ボタンを押す。
- “ピッ”という音でセット完了です。
- モデルに \square を合わせて戻します。

■モードCでの設定 (詳しくは、VK-M70の取扱説明書25ページ、破線で囲まれたシステムメニュー2をご覧ください)

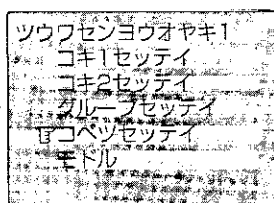
モードBメニューに個別呼出機能が追加されます。

(1) 個別設定

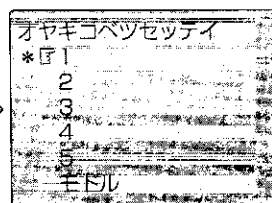
通話専用増設親機1、2に1~5の数字を設定してください。その数字が個別呼出時の被呼出番号になります。出荷時は、両方とも“1”になっています。通話専用増設親機には、個別呼出機能がありませんので、呼び出す時は、一斉呼出またはグループ呼出になります。



- ツウワセンヨウオヤキ1に \square を合わせる。
- \square ボタンを押す。



- コベツセッテイに \square を合わせる。
- \square ボタンを押す。



- 1~5に \square を合わせる。
- \square ボタンを押す。
- “ピッ”という音でセット完了です。
- モデルに \square を合わせて戻します。

10. 電源投入時の動作について

電源を入れると約2秒から10秒で使用可能になります。他の親機が通話中に電源を入れたときは通話終了後最大約10秒で使用可能になります。使用可能前に送受器を取ってもビジートーン（ブー）が鳴って使用できません。

11. タイマー機能

- ドアホン子機から呼ばれて応答しない時……………約30秒
- ドアホン子機から呼ばれて応答した時……………約3分/1分
- 親機から呼ばれて応答しない時……………約30秒
- 親機から呼ばれて応答した時……………約3分
- 待機状態から送受器を取り上げた時……………約5秒（レディートーン）
- 通話専用増設親機が使用できない時に ……約30秒（※1）
送受器を取り上げた時（ビジートーン）
- ビジートーンが鳴ってから1分間……………約1分（※2）
送受器を元に戻さない時（ハウラー音）

（※1） ビジートーンが鳴ってから約30秒後に音量が一段階上がります。
更に、送受器に戻さないと約15秒後にもう一段階上がります。

（※2） ビジートーンが鳴ってから約1分間、送受器を元に戻さないと、ビジートーンからハウラー音に切り替わります。約1分間鳴った後、停止します。

12. 故障かな？と考える前に

正常に動作しない場合は、下表により点検してみてください。それでも具合が悪い場合はご自分で修理なさらず、モニター親機・増設用モニター親機の電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。

①型名：VK-M70TT ②症状：できるだけ詳しく ③道順：近所の目印も

症状	点検項目
動作しない ビジートーン(ブー)も鳴っていない	● 電源線(3・4番端子)が正しく接続されていますか？ また配線コードがショートしていませんか？
ビジートーン(ブー)は鳴っているのに動かない	● 通話線(1・2番端子)が正しく接続されていますか？ また配線コードがショートしていませんか？ ● モニター親機で断線異常している箇所がありませんか？ ● 他の親機が使用していませんか？
ハウラー音(ブー)が鳴っている 呼出音が鳴らない	● 送受器はきちんと掛かっていますか？
ドアホン子機からの呼出しがかからない	● 呼出音量つまみが「切」になっていませんか？ (送受器の側面にあります。) ● モニター親機(VK-M70H)のメニュー設定で「アウトウナジ」になっていませんか？ (システムメニュー2を開いて確認してください。)

13. ご相談窓口一覧表

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに
関するご相談は
TEL ☎ 0120-3121-68
FAX ☎ 0120-3121-87

商品情報やお取り扱いに
ついてのご相談は
TEL ☎ 0120-3121-11
FAX ☎ 0120-3121-34

*フリーダイヤルされますと、お客様の地域を担当するセンターへおつなぎします。

ご相談窓口

家電品についてのご意見やご要望は各地区のお客様相談センターへ

担当地域	電話番号	所在地
北海道地区	011-833-5088	札幌市白石区東札幌2条4-1-10
東北地区	022-232-5088	仙台市宮城野区扇町1-1-45
関東・甲信越地区	03-3834-8588	台東区東上野2-7-5(日立家電上野ビル)
中部地区	052-795-5088	名古屋市守山区川宮町55(日立家電守山ビル)
関西地区	078-431-5088	神戸市東灘区甲南町1-3-8
中国地区	082-231-5088	広島市西区観音新町1-7-17
四国地区	0877-47-1088	坂出市林田町4285-143
九州・沖縄地区	092-281-5088	福岡市博多区店屋町7-18(博多渡辺ビル)

●ご相談窓口の名称、所在地等は変更になることがありますのでご了承ください。

14. 仕様

形状：壁掛形(付属の壁掛金具を使用)
寸法：220(高)×77(幅)×67.1(奥)mm
質量：約360g
電源電圧：DC13.5~18.5V(モニター親機の使用状態により変動)
消費電流：待機時 約35mA
 動作最大時 約140mA
通話方式：送受器による同時通話
呼出音：チャイム音1 2点打チャイム音×2回(ピンポン)
 チャイム音2 2点打トモチャイム音×2回(ポロロ、ポロン)
 室内呼出音 音声呼出1 直接音声呼
 音声呼出2 呼出確認音の後音声呼(ポーン)
 呼出音 電子音(ピロピローン)
 ビジー音 使用中/使用不可音(ブー、ブー...)
 レディ音 子機接続予告音(ブー)
 ハウラー音 警告音(ブー)
通達距離：モニター親機~通話専用増設親機間 0.9φにて最大50m
配線本数：4本(有極性)
周囲温度：-5℃~+40℃
材質・色調：ABS樹脂・白

15. 保証とアフターサービス (必ずお読みください)

■保証について

- この製品は保証書付きです。保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日から1年間です。なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

■補修用性能部品の保有期間について

通話専用増設親機の補修用性能部品の保有期間は製造打切後7年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるときは

本機が正常に動作しないときは、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店にご相談ください。

■転居されるときは

ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

■アフターサービスなどでお困りの場合は

アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い上げの販売店か11ページのご相談窓口にお問い合わせください。

HITACHI

日立 ドアビジョン ドアビジョン周辺機器 **保証書**

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。

出張修理

品名	ドアビジョン用通話専用増設親機	★お買い上げ日	年	月	日
保証対象	本体	★お客様	お名前 様		
形名	VK-M70TT		ご住所 (〒)		
保証期間	(お買い上げ日から) 1年間	★販売店	電話番号 ()		
			住所・店名		
			電話番号 ()		

★印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

お買い上げいただき誠にありがとうございました。

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きに従って正常な使用状態で使用して故障した場合には、本書記載内容に基づきお買い上げの販売店が無料修理いたします。お買い上げの日から上記の期間内に故障した場合は、お買い上げの販売店に出張修理をご依頼の上、本書をご提示ください。

本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。

- (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
- (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
- (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
- (ニ) 車両、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
- (ホ) 業務用または過酷な条件のもとで使用されて生じた故障または損傷。
- (ヘ) 本書のご提示が無い場合。
- (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入の無い場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- (チ) 故障の原因が本機以外にある場合で改善を要するとき。

2. 本機が故障した場合、稼働していない時間に対する営業損失は補償対象外とします。

3. 離島または離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行なった場合には、出張に要する実費を申し受けます。

4. 修理に伴う商品の移送に要する送料等は、お客様の負担となります。

5. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。

6. 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、11ページのご相談窓口一覧表をご覧の上、お近くの窓口にご相談ください。

7. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

● この保証書は本書に明示した期間、条件の元において無料修理をお約束するものです。

従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口一覧表の窓口にお問い合わせください。

● 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書の保証とアフターサービスをご覧ください。

◎ 株式会社 日立製作所 〒105-8430 東京都港区西新橋2-15-12 TEL (03) 3502-2111

◎ 株式会社 日立製作所 〒105-8430 東京都港区西新橋2-15-12
TEL (03) 3502-2111